

国の施設の開放等について

施設名	所管部局	現 状	公開の方向性
① 首相官邸（東京都千代田区）	内閣総務官室	・官邸（大・小ホール、記者会見室）、公邸（旧閣議室、大ホール）について、小・中学生を対象に、8月に9日間（延べ26回、900人超）見学を実施。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 左記に加え、毎月2日間（土日の2日間）、小・中学生の見学を実施（年間88回。左記と合わせて約4,500人の見学が可能） ・ HPで募集・抽選。 ・ 平成28年9月からの実施を検討。
② 迎賓館赤坂離宮（東京都港区）	迎賓館庶務課	・夏の10日間、本館・主庭・前庭を対象にした事前申込制の参観（平成27年度参観者数2,000名/日、計20,000名）及び秋の3日間、前庭を対象にした自由参観（平成27年度17,744名）を実施。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4月19日から、前庭：自由参観、人数制限なし、本館・主庭：事前申込制と当日受付制併用、3,000名/日、別館：事前申込制、120名/日で、接遇に支障のない範囲で可能な限り通年公開を実施。 ・ 多言語音声端末を導入。
③ 京都迎賓館（京都府京都市）	迎賓館京都事務所運営課	・年1回10日間、事前申込制の参観を実施。（平成27年の参観者数1,300名/日、計13,000名）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4月28日～5月9日の間、事前申込み不要の当日受付で試験公開を実施。 ・ 通年公開については、試験公開の結果を踏まえ、接遇に支障のない範囲で可能な限り7月下旬を目途に実施予定。 ・ 多言語音声端末を導入予定。

④ 皇居（東京都）	宮内庁長官 官房秘書課	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年末年始・行事日等を除く平日、通年で事前申込制・案内人付の参観を実施。（午前・午後各1回、300人/回。平成27年の一般参観者数は、73,965人） ・ 英語による音声ガイダンス。 ・ 乾通り一般公開を春秋5日間実施。（平成27年秋の参入者数は、202,820人） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 左記の参観を、土曜も含め実施。（施設整備のため月曜休園） ・ 当日受付を実施。（旅行者の便宜を考慮し、事前予約も受付） ・ 参観定員を500人/回に増。 ・ 音声ガイダンスを多言語化（英語に加え仏中韓語）。 ・ 試行した上で、平成28年度中に実施。 ・ 乾通り一般公開の開催期間を春秋7日間に拡大。
⑤ 皇居東御苑（東京都）	宮内庁長官 官房秘書課	<ul style="list-style-type: none"> ・ 月金、年末年始・行事日等を除き、通年開放。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ガイダンス機能の強化（案内板（英中韓語）・名札・音声ガイダンスなどの拡充・整備）や広報の充実。 ・ 三の丸尚蔵館を増築。 ・ 富士見多間の公開、富士見櫓前の開放。 ・ 江戸城模型を設置。 ・ 平成28年度以降、順次実施。
⑥ 京都御所（京都府京都市）	宮内庁長官 官房秘書課	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年末年始・行事日等を除く平日・土曜（夏季・冬季は第3土曜のみ）に、通年で事前申込制・案内人付の参観を実施。（平成27年の参観者数は、159,653人） ・ 春秋5日間、事前予約不要の一般公開。（平成27年の参入者数は、191,296人） ・ 英語による案内あり。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 左記の参観及び一般公開を再編し、土日も含め、通年で事前予約不要、入園者数制限のない一般公開として実施。（園内整備のため月曜休園） ・ 試行した上で、平成28年度中に実施。 ・ 希望者には、英語・中国語を含むガイド案内を実施。

⑦ 仙洞御所・桂離宮・修学院離宮（京都府京都市）	宮内庁長官 官房秘書課	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年末年始・行事日等を除く平日・土曜（夏季・冬季は第3土曜のみ）に、通年で事前申込制・案内人付の参観を実施。（仙洞御所2回/日、桂離宮6回/日、修学院離宮5回/日。平成27年の参観者数は、3施設計で110,150人） ・ 英語による音声ガイド。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 左記の参観を、土日も含め実施。（園内整備のため月曜休園） ・ 仙洞御所参観を5回/日に増。 ・ 当日受付枠等の設定により、当日受付を実施。 ・ 試行した上で、平成28年度中に実施。 ・ 音声ガイドを多言語化（英語に加えて仏中韓西語）。
⑧ 御料牧場（栃木県塩谷郡高根沢町・芳賀郡芳賀町）	宮内庁長官 官房秘書課	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家畜の衛生管理の観点から原則非公開。 ・ 年2回、地元住民対象の見学会を実施。（平成27年の見学者数は、128名） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 左記に加え、年2回程度、地元外からの見学会を試行。 ・ 平成28年度中に試行し、拡充策を検討。
⑨ 鴨場（千葉県市川市、埼玉県越谷市）	宮内庁長官 官房秘書課	<ul style="list-style-type: none"> ・ 猟期外に、地元住民対象の見学会を実施。（40名程度/回。平成27年度の見学者数は、埼玉374名（12回）、新浜657名（12回）） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 左記に加え、猟期外に、年10回程度、地元外からの見学会を試行。 ・ 平成28年度中に試行し、拡充策を検討。
⑩ 信任状捧呈に係る馬車列	宮内庁長官 官房秘書課、外務省 儀典官室	<ul style="list-style-type: none"> ・ 馬車列の実施日時等の情報を、原則閣議決定日に、宮内庁HP及び日本政府観光局HPに掲載して広報。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国会会期中を除き、閣議決定の期日を信任状捧呈式の1週間前までに行うことを原則として、広報時期を前倒し。 ・ 左記HPに加え、広報媒体の多様化や情報提供先の拡大により、広報を拡充。 ・ 平成28年春から実施。

<p>⑪ 造幣局本局（大阪府大阪市）</p>	<p>財務省理財局国庫課、独立行政法人造幣局総務部</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・造幣博物館については、土日祝・年末年始・桜の通り抜け期間以外は、通年公開。英中韓国語の音声ガイドあり。（平成26年度来館者数は、62,948名） ・貨幣工場については、土日祝・年末年始・桜の通り抜け期間以外に、事前申込制で見学可能。英中韓国語のビデオ・パンフレットあり。（1日6回、100名/回。平成26年度見学者数は、35,007名） 	<ul style="list-style-type: none"> ・造幣博物館について、年末年始・展示品入替日等を除き、原則休日開館を実施。 ・貨幣工場の見学について、当日受付・事前予約制を併用する。 ・平成28年秋から実施。
<p>⑫ 東京大学宇宙線研究所スーパーカミオカンデ（岐阜県飛騨市神岡町）</p>	<p>文部科学省研究振興局学術機関課</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・研究者向け個別見学（約1,500名）、スーパーサイエンスハイスクール研修（約600名）、飛騨市主催見学イベント（GSA:ジオスペースアドベンチャー、約800名）で、計年間約3,000名が現地見学。 ・道の駅「スカイドーム神岡」、日本科学未来館、岐阜サイエンスワールドで模型等を展示。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事前予約制の一般開放日（約400名）を創設。 ・宇宙線研究所（柏キャンパス）に、一般見学者向け展示コーナーを新設。 ・平成28年度中に試行し、拡充策を検討。
<p>⑬ 首都圏外郭放水路（埼玉県春日部市）</p>	<p>国土交通省水管理・国土保全局治水課</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事前予約制の個人見学（火～金、3回/日、25名/回）、団体見学（月曜、3回/日、50名/回）を実施。（平成26年度見学者数は、約30,000名） ・英中台のパンフレット制作。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人見学（3回/日）のうち1回/日について、調圧水槽見学を中心とした簡易コースで実施することにより、見学者定員を50名/回に増加。 ・毎月一回土曜日に個人見学を実施。 ・平成28年6月から試行し、拡充策を検討。

⑭ 大本営地下壕跡 (東京都新宿区)	防衛省大臣 官房広報課	<ul style="list-style-type: none"> ・戦後 70 周年の 2015 年 8 月に、報道機関に地下壕内部を公開。 ・平日午前・午後各 1 回、防衛省内の見学ツアーを実施。(市ヶ谷台ツアー。地下壕は含まず。年間見学者数は、約 2 万人) 	<ul style="list-style-type: none"> ・地下壕内は激しく老朽化していることから、市ヶ谷台ツアーの経路に、地下壕内部のパネル写真、図面、映像資料等を展示。 ・平成 28 年度中に実施。 ・大本営地下壕に関する資料について、米公文書館、建設工事施工会社等で調査を実施。
⑮ 日本銀行 (東京都中央区)	日本銀行 政策委員会室 経営企画課	<ul style="list-style-type: none"> ・本店本館について、事前予約制の見学会 (4 回/日) を実施。(平成 26 年度見学者数は、約 4 万人) ・英語解説あり。 ・貨幣博物館は、月曜を除く毎日開館。(平成 26 年度見学者数は、約 10 万人) ・英語解説あり。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本店本館について、事前予約不要かつ英語にも対応した枠を新設し、当日立ち寄った外国人・日本人旅行者も見学可能にする。 ・日英に加え、中国語のパンフレットを作成。 ・平成 28 年 6 月から試行実施。

- (注) ・各施設の実施の詳細・日程感については、所管部局にお問い合わせいただきたい。
- ・4 月以降については、「明日の日本を支える観光ビジョン構想会議」のフォローアップ活動の中で、更なる国の施設の開放に取り組むこととなる。